

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 53	提案機関名 農業技術センター北相地区事務所 普及指導課
要望問題名 旧津久井郡内の1、2月収穫ブロッコリーの品種の検討	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 旧津久井郡は冬の低温が厳しく、凍害などにより、生育障害や生育不良が生じやすい環境にある。そのような中、出荷生産物が少ない時期を狙い、1、2月どりブロッコリーを試みる生産者はいるが、可販果率が著しく低い。本所野菜作物研究課においてブロッコリーの品種比較検討は行っているが、当該地域とは気象条件が異なるため、当該地域の温度条件においても可販果率の高くなる品種があるかご検討いただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考 農業技術センター北相地区事務所での対応をお願いします。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 北相地区事務所 研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-1 (2) 新たな作物・品種の探索による特産品の開発 キ 北相地域の特産品の開発	
対応の内容等 2月採りブロッコリーの栽培は暖地で行われており、旧津久井郡では低温を原因とする生育不良や凍害が出やすいと考えられますが、近年多くの品種が発売されており、検討の余地があります。 そこで農業技術センター野菜作物研究部の取り組みを参考にしうえて、有望と思われる数品種について冷・凍害耐性を比較します。また、供試した品種のうち成績の良好なものについては、播種時期による肥大特性等を検討し、地域で推奨できる品種と播種期等を明らかにします。	
予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
備考	